

## メールアーカイブシステム国内 No.1※ 『MailBase』、WebAPI 実装など機能強化 グループウェアや顧客管理システム等から過去メールを検索可能に

※富士キメラ総研調査

法人向けソフトウェアの開発、販売を行うサイバーソリューションズ株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:秋田健太郎、以下当社)は、メールアーカイブシステム『MailBase V6 (メールベース バージョン 6)』の提供を7月28日より開始することをお知らせします。



<https://www.cybersolutions.co.jp/product/mailbase/>

### ■コンプライアンスや内部統制強化・業務効率アップ 高まるメールアーカイブの必要性

近年、危機管理やコンプライアンスの強化が企業には求められています。従業員の機密情報の漏洩対策やメールでやり取りされている取引先との発注書や見積書をエビデンスとしてメールで残すなど、企業は、会社全体のメールを一元管理する必要があります。関税法や電子帳簿保存法といった法律でもメールの保管が義務付けられています。

また、従業員個人においても、日々社内外と多くのメールをやり取りしており、もはやメールはビジネスコミュニケーション上欠かせないツールとなっています。膨大な過去メールを迅速に検索できることは日々の業務効率性を向上させることに繋がり、また、誤って必要なメールを削除してしまった場合でも、自分のメールボックスに復元できるよう、予めアーカイブしておくことがリスク管理面から見ても有用となっております。

『MailBase』は、社内外あて全ての送受信メールを保存し、必要な時に添付ファイルの中身も含め高速に全文検索することができる容量無制限アーカイブシステムです。Office 365やG Suiteをはじめとしたクラウドメールサービスや、ExchangeやNotesといった各種メールサーバーに連携可能です。また、Web インターフェイスを搭載しているため、高度な操作スキルを必要とせず、インターネット検索をする感覚でメールの適切な利用状況を監査することができます。コンプライアンス対策に加えて、社員自身が過去のメールを検索することもでき、導入企業や自治体から高い評価を得ております。11年連続メールアーカイブソフトウェア国内製品シェア NO.1 (※1) となっており、これまでに国内企業 500社以上にご利用いただいております。(※1) 富士キメラ総研「2009～2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」より

## ■ 今回の機能強化で他システムからでも過去メールの検索が可能に セキュリティ面の利便性も向上

今回の『MailBase V6』の主な機能拡張は以下の通りとなります。

### ・他システムからでも過去メールの検索が可能に Web API 機能を新たに実装

WebAPI を使用することで、グループウェアや顧客管理システムといった『MailBase』以外のシステムから、『MailBase』にアーカイブされた膨大なメールデータを検索することや検索結果をメール転送することができるようになりました。

グループウェアで用意されているメーラーを使っている場合など、メーラーによって保存できるメールの容量に上限があります。古いメールはメーラー上から削除する必要があるため、削除した過去メールを見ることができなくなってしまう。そこで、『MailBase』でメールをアーカイブし、いざ、自身の過去メールを見たいとなった時に、今までは『MailBase』のインターフェイスに移動して検索する必要がありました。今回追加された WebAPI を使用して連携開発することで、『MailBase』のインターフェイスに移動せずとも、普段利用しているグループウェアなど他のシステムから『MailBase』に保存されているメールを検索し確認することができるようになりました。

### ・セキュリティ面の利便性向上 Microsoft Azure AD OAuth 2.0 認証

OAuth (オーオース) 2.0 認証 (※2) による Azure AD (Azure Active Directory の略 アジュール アクティブディレクトリ) でのシングルサインオンをサポートしました。

Azure AD は Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスで、Azure AD の ID を利用して『MailBase』にログインできるようになります。このことにより、メールサーバーは Office365 の Exchange Online を使用し、アーカイブは『MailBase』をお使いのお客様はシングルサインオンが可能となり、セキュリティ面での利便性が向上いたします。

その他、Cookie の HTTPOnly 属性や Secure 属性をサポート。暗号化の制御やログイン画面でのオートコンプリート機能の無効化などの設定が可能になり、セキュリティ面の強化も実現しております。

(※2) OAuth 2.0 とはウェブアプリケーション、デスクトップアプリケーション、スマートフォン、リビングデバイス等のアプリケーションの開発者に対し、リソースアクセス権限を付与する簡単な方法を提供するもの。

### ・監査担当者の検索ユーザービリティを向上

監査担当者が効率よく必要な過去メールを検索できるように、監査でのメール検索画面のレイアウトを改善。関連した設定のグループ化によりユーザービリティが向上しております。また、検索条件に関して、監査ルールの条件式設定数が以前は 10 項目のみだった機能を、20 項目に拡張いたしました。過去メールを検索するにあたって、細かい条件分岐が可能となることで、監査担当者が必要なデータを効率よく絞り込みができるようになりました。

### ・処理機能について改善・強化

今回の機能強化では、インデックス作成時のテキスト抽出・変換処理時の負荷軽減、メールの圧縮形式を追加しディスク使用量の削減、マルチサーバ環境でのメール概要一覧エクスポート処理の改善といった処理機能の改善も実現しております。

今回の機能拡張はオンプレミス製品である『MailBase』にのみ適用されますが、クラウドサービスである『MAILBASE Σ (メールベースシグマ)』にも 8 月以降、順次適用させていただきます。今後も、メールアーカイブシステム国内 No. 1 のソリューションとして、機能面の強化や更なるサービス充実に努めてまいります。

\* 記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 【サイバーソリューションズ株式会社について】

サイバーソリューションズ株式会社は、法人企業向けにクラウドメール・メールセキュリティサービスなど、メール環境のトータルソリューションを提供しています。

クラウドメールサービス『CYBERMAIL Σ』、標的型攻撃・情報漏えい対策のメールセキュリティサービス『MAILGATES Σ』、Office 365・G Suite のメールセキュリティ強化サービス『Cloud Mail SECURITYSUITE』、各メールサービスに連携可能な容量無制限アーカイブサービス『MAILBASE Σ』など、日本の企業では珍しい独自のメールシステムの技術を活用したサービスの提供を行っています。

また、オンプレミス製品も展開しており、高性能 Web メール機能搭載の統合型セキュア・メールサーバシステム『CyberMail』は、国内で約 15,000 社以上の企業・自治体でご利用いただいております。

## 【会社概要】

|         |   |
|---------|---|
| 社名      | サイバーソリューションズ株式会社  |
| 代表取締役社長 | 秋田 健太郎  |
| 本社所在地   | 〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル 8F   |
| ホームページ  | <a href="https://www.cybersolutions.co.jp">https://www.cybersolutions.co.jp</a> |
| 設立      | 2000 年 1 月  |
| 資本金     | 1 億円  |
| 事業内容    | ソフトウェアの企画／開発／販売／保守サポート<br>クラウド／ASP 事業<br>Web ソリューションのコンサルティング及び開発               |
| 連絡先     | Tel: 03-6809-5858 Fax: 03-6809-5860   |

### 本プレスリリースに関するお問い合わせ

製品やサービスに関するお問い合わせ

営業本部 TEL : 03-6809-5858 ([sales@cybersolutions.co.jp](mailto:sales@cybersolutions.co.jp))

メディア、報道関係者お問い合わせ

サイバーソリューションズ株式会社 広報事務局 担当：小林（携帯 090-9319-3096）黒田（携帯 080-4900-7949）

電話：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 メール：[pr@netamoto.co.jp](mailto:pr@netamoto.co.jp)